

2023 年度 事業計画書

学校法人 名城大学

本法人では、立学の精神である「**穩健中正で実行力に富み、国家、社会の信頼に値する人材を育成する**」に基づき、社会が求めるバランス感覚と実行力を兼ね備えた人材の育成に努めています。具体的には、開学 100 周年を迎える 2026 年を目標年とする戦略プラン「Meijo Strategy-2026 (以下「MS-26」とする)」を 2015 年から推進しており、ビジョンである「**大学：多様な経験を通して、学生が大きく羽ばたく『学びのコミュニティ』を創り広げる**」、「**高校：『多様な経験』を創り出す『挑戦する学校』**」の実現を目指しています。さらに 2021 年度には、MS-26 の進捗状況を点検し、その完遂に向けて重点的に取り組むべき事業内容を「中期事業計画」として明確化しました。

この MS-26 及び中期事業計画に基づき、2023 年度に各設置学校及び法人が実施する主な事業について本計画書にまとめました。ここに掲げた、人材の確保・育成、教育・研究の充実、社会貢献、そしてそれらを支える組織・体制の整備と経営強化を、全構成員が一丸となり着実に推進してまいります。

2015-2026

MS-26 戦略プラン

—開学 100 周年に向けて—

立学の精神：「**穏健中正で実行力に富み、国家、社会の信頼に値する人材を育成する**」

[大学・高校に関わる全ての人達と共有したい価値観]
生涯学びを楽しむ・・・「Enjoy Learning for Life」

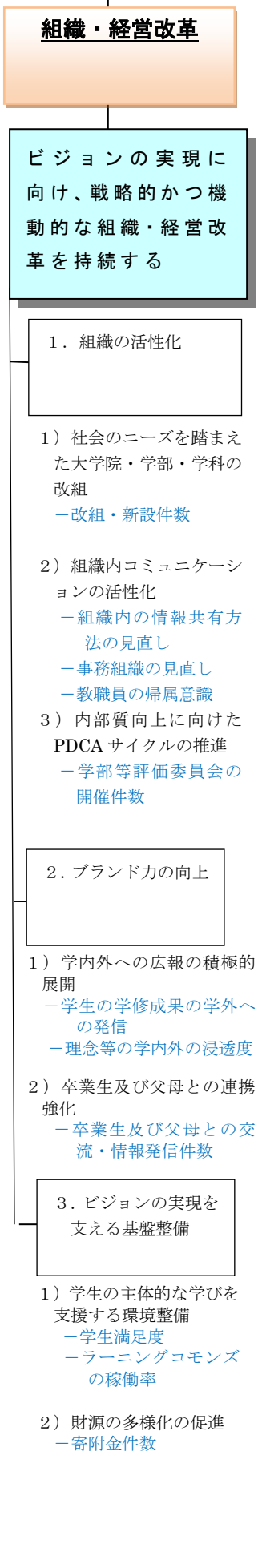
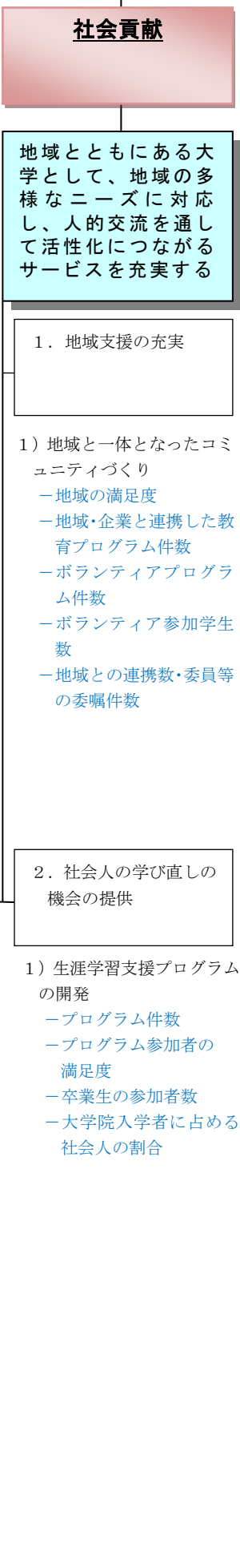
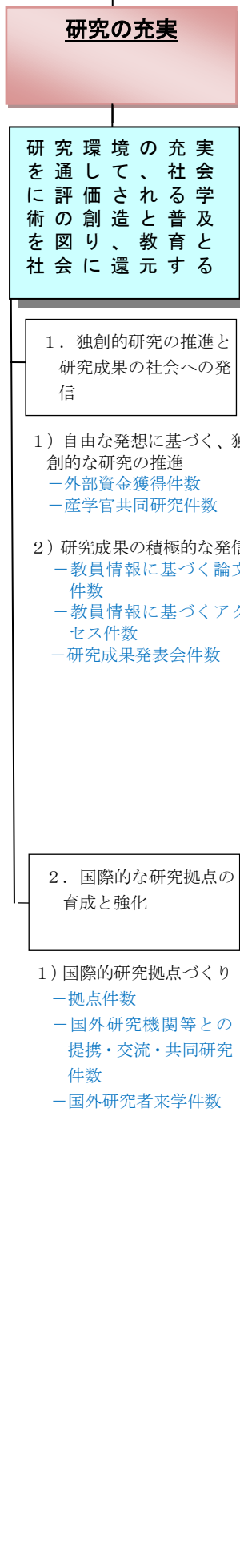
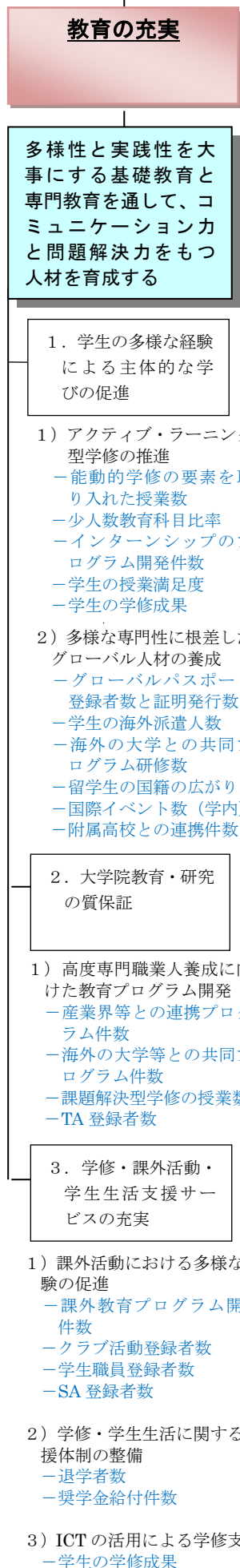
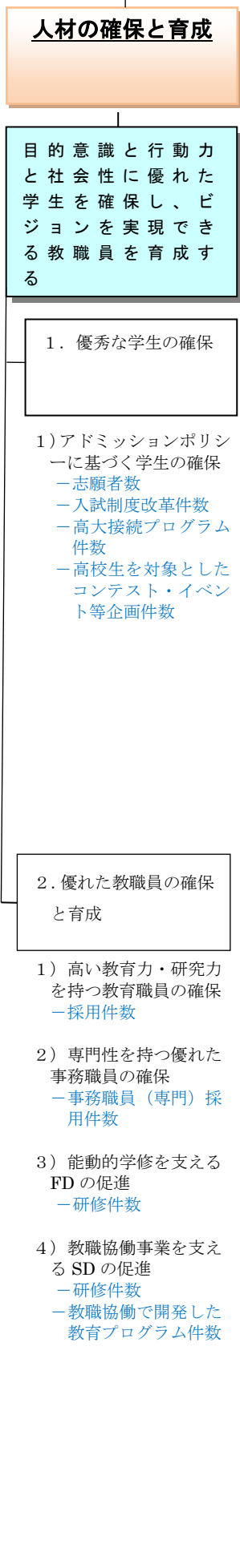
Vision：多様な経験を通して、学生が大きく羽ばたく「**学びのコミュニティ**」を創り広げる

Mission：(教育ミッション) 主体的に学び続ける「**実行力ある教養人**」を育てる

(研究ミッション) 「**学問の探究と理論の応用**」を通して、**成果を教育と社会に還元する**

(社会貢献ミッション) 社会との「**人的交流**」を通して、**地域の活性化に貢献する**

Key Performance Indicators (KPI)：学生の大学に対する満足度、学生の学修成果、就職満足度、卒業後の帰属意識、教職員の帰属意識



2015-2026

MS-26 戦略プラン

—開学 100 周年に向けて—

立学の精神：「**穏健中正で実行力に富み、国家、社会の信頼に値する人材を育成する**」

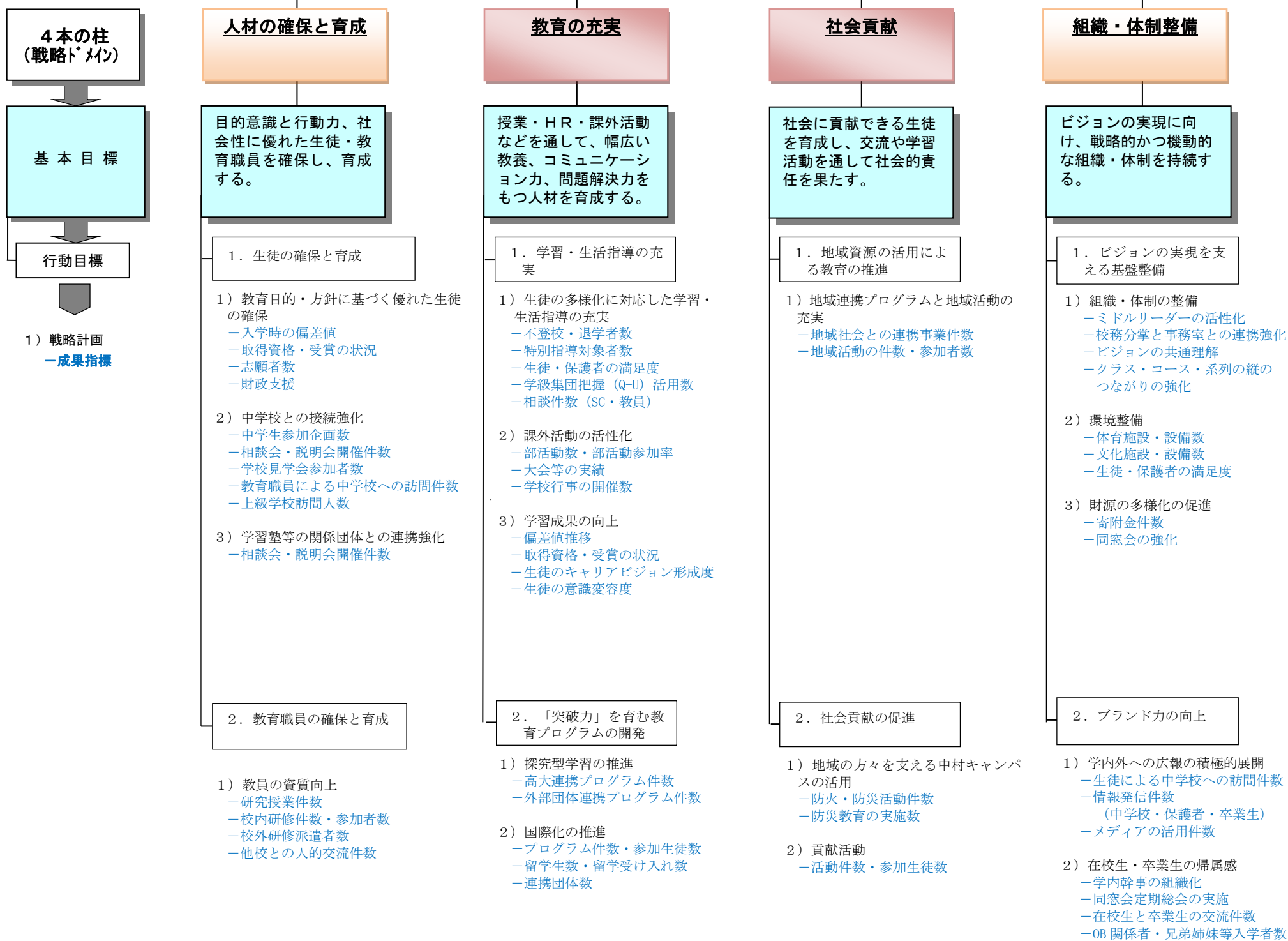
[大学・高校に関わる全ての人達と共有したい価値観]

生涯学びを楽しむ・・・「Enjoy Learning for Life」

Vision：「**多様な経験**」を創り出す「**挑戦する学校**」

Mission： (教育ミッション)「主体的に学ぶ力」と「突破力」を備えた生徒を育成する
(社会貢献ミッション)「人的交流」や「学習活動」を通して、社会的責任を果たす

Key Performance Indicators (KPI)：卒業後の帰属意識、生徒・保護者の学校に対する満足度



本法人では、2021 年度に中期事業計画を策定し、2026 年に達成すべき「到達目標」を設定しています。この達成に向け、2023 年度は以下の計画に取り組みます。

大学

【2026 年度到達目標】

- ・ 学生の大学に対する満足度 95%以上
- ・ 学位授与方針の達成度（学生の学修成果）90%以上
- ・ 本学を卒業することの誇り 90%以上
- ・ 本学卒業生としての誇り（卒業後の帰属意識）90%以上
- ・ 在学中の学びを振り返っての成長実感 100%
- ・ 就職満足度 98%以上

1. 人材の確保と育成

中期事業計画	2023 年度事業計画
多様な素養を持つ質の高い学生を安定的に確保するため、入試改革を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新入試制度参加学部拡大、及び新課程に対応した入試制度の導入準備を行う。 ・ 入試サイトの閲覧分析結果を踏まえた広報を展開する。
多様な人材の活用による研究力・教育強化のため、各種制度の導入及び改善を実施する（URA（ユニバーシティ・リサーチ・アドミニストレーター）制度、特任助手制度等）。	<ul style="list-style-type: none"> ・ URA（ユニバーシティ・リサーチ・アドミニストレーター）制度を活用し、研究活動を支援する。 ・ 教育・研究支援の充実に向け、特任助手制度を検証し改善する。

2. 教育の充実

中期事業計画	2023 年度事業計画
社会のニーズを踏まえ教養教育を見直す（数理・データサイエンス・AI 教育等）。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生に数理・データサイエンス・AI の素養を修得させる。
学生の主体性と実践性を育む教育改善を推進する（アクティブ・ラーニング・反転授業の推進、副専攻制度の全学展開）。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 副専攻制度の充実に向けた取り組みを推進する。 ・ アクティブ・ラーニング型授業等の方法論を共有し、全学及び学部・研究科における教育改善を推進する。
多様な学生に対するキャリア支援を拡充する（学修ポートフォリオの全学導入、カウンセリングの充実等）。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学修ポートフォリオを活用し、学修成果の可視化及びキャリア支援を拡充する。
ビジョン達成に資する学びのコミュニティ創出支援事業等を活性化させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「学びのコミュニティ創出支援事業」のプログラムの検証結果を踏まえ、活性化に向けた取り組みを推進する。 ・ 「Enjoy Learning プロジェクト」のプログラムを検証し、活性化に向けた取り組みを推進する。

中期事業計画	・ 2023 年度事業計画
アントレプレナーシップを持った次世代人材を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ アントレプレナーシップを養成する人材育成プログラムを推進する。 ・ 起業活動促進拠点を運営し、起業活動の活性化を推進する。 ・ 学生主体の起業コミュニティの運営を支援する。
国外派遣学生及び受入れ留学生を増加させる（交換留学制度の拡充等）。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 派遣留学制度の拡充により、学生を積極的に海外に派遣する。 ・ 受入れ留学制度の拡充により、留学生を積極的に受け入れる。 ・ グローバル人材養成に向けたプログラムを推進する。 ・ 国際化計画 2026 を推進する。

3. 研究の充実

中期事業計画	2023 年度事業計画
研究の更なる活性化に向けた組織的施策を実施・検証する（外部資金獲得に向けた教員サポート体制・制度の充実、URA 導入及び活用[再掲]）。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部資金の更なる獲得に向けた教員サポート体制の拡充及び環境整備を推進する。 ・ URA 制度を活用し、研究活動を支援する。【再掲】
産官学連携による総合大学の強みを生かした研究（共同研究）を促進する（URA 導入及び活用[再掲]、リサーチフェアの推進等）。	<ul style="list-style-type: none"> ・ URA 制度を活用し、研究活動を支援する。【再掲】 ・ リサーチフェア、外部の技術相談会、展示会において研究シーズの情報発信、マッチングに繋ぎ、共同研究件数を増加させる。
LED・カーボンナノチューブに加え、新たな世界的研究拠点を形成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究センターを中心とした独創的・先駆的な学術研究活動を積極的に支援する。

4. 社会貢献

中期事業計画	2023 年度事業計画
社会的要請への対応や地域課題の解決等に向けた行政・企業等との各種社会連携事業及び包括連携協定の締結を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政・企業等との社会連携事業を推進し、社会的要請への対応及び地域課題の解決に取り組む。
社会のニーズを捉えた社会人向けの公開講座等を企画・運営する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会のニーズを捉えた公開講座等の企画・運営により、社会人の学びや生涯学習の機会を創出する。

5. 組織・経営改革

中期事業計画	2023 年度事業計画
大学規模の維持及び適正規模の検証・提案、全学的視点による既設学部・学科の再編を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会のニーズを捉えた大学院・学部・学科の改組等に向けた取り組みを推進する。
大学院の適正規模を検証・提案する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学定員変更後の定員充足状況を検証する。
事務職員人事制度（給与体系、人事考課制度、専門人材 等）を見直す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務職員新人事制度導入に向けた取り組みを推進する。

中期事業計画	・ 2023 年度事業計画
教学マネジメントを実質化する（学修成果の可視化による教育改善）。	・ 学修成果の可視化による教育改善を推進し、本学における教学マネジメントシステムを実質化する。
ブランド力向上に向けた戦略的広報を展開し WEB サイトや SNS 活用方法を見直すとともにメディアとの関係を構築する。	・ 広報戦略に基づく情報発信及びメディアとの関係構築によりブランド力向上を図る。
文部科学省及び各種関係団体の動向や情報を収集する。	・ 東京オフィスを拠点に文部科学省及び各種関係団体の動向・情報を収集し活用する。
新たな卒業生組織を設置・拡大し、卒業生との連携を強化する。	・ 卒業生組織の拡充に向けた取り組みを推進し卒業生の誇りを醸成する。
コンプライアンス基本原則を策定し、その推進に係る研修等を実施する。	・ 研究倫理、ハラスメント、法令遵守等に係る研修を実施する。
ICT 活用を推進する（教育・研究環境の向上、学生支援、法人運営支援、社会への情報発信、業務効率化、セキュリティ強化等）。	・ DX を可能とするネットワーク環境・ICT 機器の整備を推進し、教育研究活動の活性化を図る。
新築建物の円滑な稼働及び既設建物の効率的な運用管理により教育施設環境を向上する。	・ 全学共用棟の建設に着手する。 ・ 建物の効率的な運用管理を行う。
安定的な財政基盤を維持・強化する。 【法人全体】	・ 目標とした学生数を確保し教育・研究の基盤を維持する。 ・ 収益事業の推進等収入の多様化及び業務改善による経費等の支出削減を推進する。 ・ 特定資産を計画的に拡充する。 ・ 安全且つ効率的な資産運用を行う。
100 周年事業を推進する。	・ 開学 100 周年事業の推進に向け、計画に基づく広報活動を行う。 ・ 開学 100 周年に係る募金事業を推進する。

上記に加え、以下の計画に取り組みます。

2023 年度事業計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学院生に対するキャリアパス支援を拡充する。 ・ 強化クラブ等の活動の活性化に向けた取り組みを推進する。 ・ カーボンニュートラルに資する取り組みを推進する。

高校

【2026 年度到達目標】

- ・ 卒業時の生徒の学校に対する満足度 90%以上
- ・ 卒業時の保護者の学校に対する満足度 90%以上
- ・ 国公立大学及び大学校合格者数 100 人以上

1. 人材の確保と育成

中期事業計画	2023 年度事業計画
質の高い志願者を安定的に確保するため、入試の見直しや戦略的入試広報を実施する（中学校への訪問、公開見学会の実施、中学生の訪問受入れ、学習塾へのアプローチ等）。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質の高い志願者の確保に向け、入試制度の検証を行う。 ・ 戦略的な入試広報を推進し、質の高い志願者を確保する。

2. 教育の充実

中期事業計画	2023 年度事業計画
教育の特色化を推進する（教育活動指針の策定、探究型学習プログラム・国際関係プログラム）。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開学 100 周年事業基本計画に基づき、教育活動指針を策定する。 ・ 生徒の意欲を引き出す体系的な探究型学習プログラムを開発・推進する。 ・ 多様な経験を創出する国際関係プログラムを開発・推進する。

3. 社会貢献

中期事業計画	2023 年度事業計画
地域との交流プログラムを開発・実施するとともに参加生徒数を増加させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との交流プログラムを開発・推進する。

4. 組織・体制整備

中期事業計画	2023 年度事業計画
新築建物の円滑な稼働及び既設建物の効率的な運用管理により教育施設環境を向上する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育環境向上のための施設整備を推進する。 ・ 建物の効率的な運用管理を行う。
安定的な財政基盤を維持・強化する。 【法人全体】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標とした生徒数を確保し教育の基盤を維持する。 ・ 収益事業の推進等収入の多様化及び業務改善による経費等の支出削減を推進する。 ・ 特定資産を計画的に拡充する。 ・ 安全且つ効率的な資産運用を行う。
100 周年事業を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開学 100 周年事業の推進に向け、広報準備等を実施する。 ・ 開学 100 周年に係る募金事業を推進する。

上記に加え、以下の計画に取り組みます。

2023 年度事業計画

- | |
|----------------------------|
| ・ カーボンニュートラルに資する取り組みを推進する。 |
|----------------------------|